

令和 4 年度 第 4 回 学校運営協議会記録

		学校名	払戸小学校
開催日時	2月20日(月) 10時10分～11時40分		
出席者	会 長：鈴木誠孝 委 員：三浦金悦 戸部正行 畠山喜美 海道利夫 伊藤睦子 小松貴典 校 長：一関隆則 教 頭：長谷川礼		
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 校長あいさつ 2 学校評価について 3 令和4年度の事業について 4 情報交換 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍になってから、中学校では卒業式で初めて校歌を歌うことになるそうだ。小学校でもこれまでの3年間で体験できなかったことをどのように補っていくかが教育活動を計画する上で大切になると思う。地域同士(船越・払戸)でも交流について話し合う機会を作っていきたい。 ・菜園・収穫時の助け合い喜んでいる姿や焼き板に真剣に取り組む姿に感動している。 ・一番の心配は「いじめ」であり、統合後もそうしたことがないように計画的に交流を進めてほしい。 ・学力が向上しているのは子どもたちの頑張りや指導の賜である。今の子どもたちにとって必要不可欠であるICTの活用力をさらに工夫して身に付けさせてほしい。 ・放課後子ども教室のもちつきは昨年以上に盛り上がっていた。協力に感謝したい。授業参観やアンケートからも学校での勉強が分かるんだなと思った。ただ、指名されたときに「はい」と返事をしないことに違和感を覚えた。 ・いつまでもふるさと「払戸」として愛着を持ち続けてほしい。地域全体を巻き込んでいくには、CS委員として何ができるだろうか。本会を話し合う場にしていきたい。 ・一つの案として、放課後子ども教室に「渡部神社」を学ぶ機会を設けたい。 ・あいさつは知っている人にはできているようだ。昔と違って地域を歩く大人も少なくなり、子どもも外で遊ばなくなったし、移動は車という家庭が多い。 4 会長あいさつ <p>授業では、集中と落ち着きが見られ、教室の雰囲気も良かった。子どもたちも生き生きとしている。県学習状況調査を丁寧に分析して、昨年の課題を生かして今年度学力を伸ばす取組をしていることに感謝する。今年度、地域に関する諸事業は予定通り行われた。豊かな教育活動や子どもたちの成長に学校運営協議会としても微力ながら寄与できたのではないかと思う。</p> 		